

東海大学大学院2023年度 家族看護研究会

東海大学家族看護学研究室では家族看護を
様々な理論やツールを用いて分析しています。
今回は、
『「渡辺式」家族アセスメント / 支援モデル』
を用いて分析していきます。



事例紹介 てんかん発作を発症し入院中の70代女性。
看護師は退院後の療養生活について患者と話す機会を
作るが、キーパーソンの次男は「私がやるので、大丈夫
です」と患者の前に出てきて、患者と詳細を詰められない。
なぜそのような状況がくり返されるのか…。皆さんと共に
紐解き、解決に向けた糸口を探ります。



プロフィール：

櫻井大輔先生(家族支援専門看護師)。国際医療福祉大学を卒業後、
神奈川県立足柄上病院に入職。東海大学大学院にて家族看護学を専攻
し、家族支援専門看護師資格を取得。2018年から、東海大学で看護
基礎教育に携わり、各地で家族看護教育の普及に努めている。

【日付】 2023年7月29日 土曜日
【時間】 13:00～16:00
【会場】 ハイブリッド開催



※感染の状況によってはオンライン開催のみとなることがあります。

参加ご希望の方は右上QRコードよりお申し込みください

(締め切り：2023年7月26日 定員に達した場合は締め切り前に締め切りとなります)

問合せ先：東海大学家族看護研究会事務局担当（櫻井・小泉）

ホームページ：<http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>

メールアドレス：dsakurai@tsc.u-tokai.ac.jp

電話：0463-93-1121（代表）